

造材を行うハーベスタ

林産業を守る

活気ある林産業が作り出す木質バイオマス

列状間伐により、道木と残木の効率化を図ります。また、高性能林業機械の活用で、作業の効率化を図るとともに、魅力ある林業と若者の就業につなげます。



間伐された森林では、しっかり根を張った木が再び成長します。

伐る

森を守る

保全のための的確な手入れ

最上町の森林は町域の8割以上を占めています。その多くは木を森林資源として「使うため」に適切に手入れされたもので、樹林や下刈り等、適正に管理されています。しかし、管理者の高齢化に伴い、管理されなくなった森林は荒廃が進み、現在、整備が進められています。自然の恵み木を伐採し、的確に手入れすることで、質の良い木が育つ健康な森林へと再生します。



列状間伐

働く



暮らしを守る

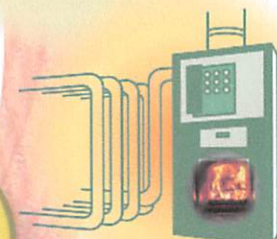
安価で安定したエネルギー供給

間伐材や造材残材などの木質バイオマスはチップに委託され、木質チップ焚きボイラのエネルギーとして冷暖房・給湯・給電のため、積極的に利用されています。また、残材も畜産肥料や飼料の原料として利用されています。今後、安価で安定したエネルギー供給を目指します。



木質チップ

使う



木質チップへ変換

木質チップ焚きボイラ

最上町では、地域で生産された木質バイオマスエネルギーによる地域冷暖房システムを構築し、エネルギーの地産地消と循環型社会の実現を目指しています。

育てる

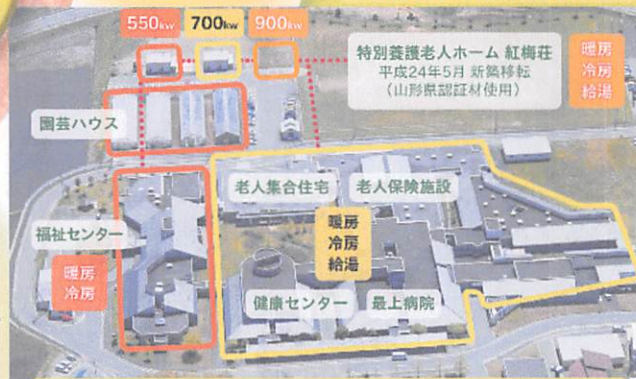


バイオマスエネルギーについて学ぶ子ども達

地球を守る

化石エネルギーに替え地球温暖化防止へ

子ども達の環境問題への関心を高めるために、伐採現場やチップ工場見学会などを行っています。森の木と共に一歩歩みを進める町の「財産」を育てます。



ウェルネスプラザのエネルギー利用システム

平成24年5月より8基のボイラを運転して稼働させ、効率約90%の熱効で安定したエネルギーが供給できるシステムを構築します。

『伐る』から生まれる豊かさを——
最上町の
バイオマスエネルギー



間伐を行ったことにより再生した森に
新たな「生命」を表現しています。

山形県
最上町